

■ 鉄道やLRT、バス、地域内交通（デマンド交通）が効果的・効率的に連携した誰もが利用しやすい公共交通ネットワークの実現のため、LRTの整備や交通結節機能の強化と併せてバスネットワークを再編し利用者の利便性の向上を図る

事業の主な内容

- ・ LRTと重複するバス路線を、利用者の利便性や事業者の事業運営の継続性に配慮しながら、公共交通空白地域を運行する路線や、交通結節点であるトランジットセンターでLRTと接続するフィーダー路線に再配置
- ・ 定時性・速達性の向上のため、遅延が発生しやすい長大路線を定時性に優れたLRTへ接続

事業の主な効果

【公共交通空白地域の解消】

LRTの導入やバス路線再編により、公共交通カバー面積が向上

	再編前	再編後	増減
公共交通カバー面積	137.0km ²	140.5km ²	+3.5km ²
カバー率	95.4%	97.2%	+1.8%

【運行の効率化・公共交通の役割分担】

LRTと重複するバス路線を支線バスに置き換え、充実させることで1日当たりの運行本数が増加

	再編前	再編後	増減
平日	506本	654本	+148本
土曜日	399本	414本	+15本
日・祝	320本	323本	+3本

※芳賀・宇都宮東部地域における運行本数

【定時性・速達性の向上】

バスとLRTの接続により速達性が向上

例)	停留所名	現状(バス)	再編後(バス+LRT)	増減
	清原台3丁目	53分	43分	△10分

※ピーク時間帯における見込み（LRTとの乗り継ぎ時間含む）

